

空知信用金庫・第146回地域企業景気動向調査

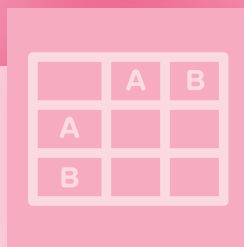
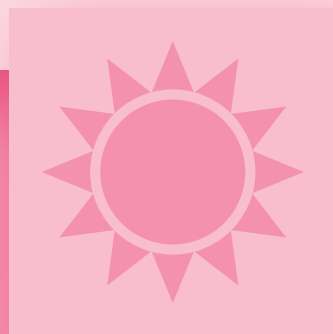
景況レポート

2023.1

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美唄・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和4年10月～12月の景気の現状と令和5年1月～3月の見通しを調査したものです。

令和5年1月末日

空知信用金庫・地域支援部
岩見沢市3条西6丁目2番地1
電話(0126)22-1171



第146回 地域企業景気動向調査要項

1. 調査地域

若見沢市・美唄市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

2. 調査対象期間

令和4年10月～令和4年12月期（実績） 令和5年1月～令和5年3月期（予想）
令和4年12月1日～12月7日に実施

3. 調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

4. 業況判断指数

D・I値による判断

D・Iとは？ Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したものの。
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

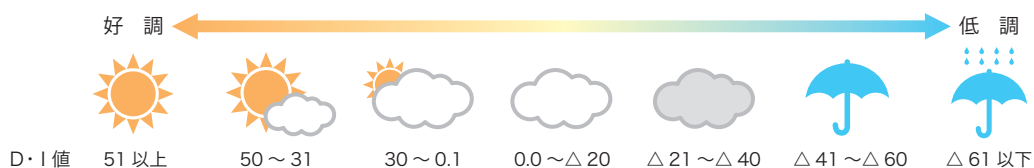
D・I値 = 「増加・やや増加・上昇の割合」 - 「減少・やや減少・下降の割合」

5. 調査対象企業数・有効回答数の内訳

区分	調査対象企業	有効回答数	有効回答率(%)
製造業	24	23	96
卸売業	14	14	100
小売業	57	53	93
サービス業	32	29	91
建設業	43	43	100
不動産業	7	7	100
運輸業	17	17	100
農業	28	26	93
計	222	212	95

6. 天気図の見方

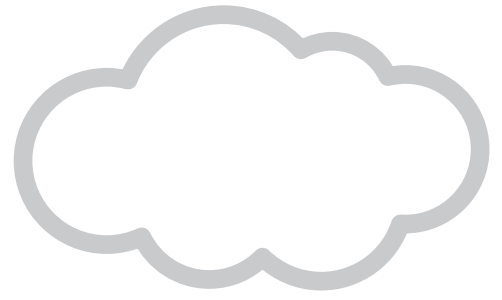
景気指標を総合的に判断して作成



7. 特別調査

「2023年（令和5年）の経営見通し」

総合



概況

中小景気は小幅悪化 内外経済情勢は流動的

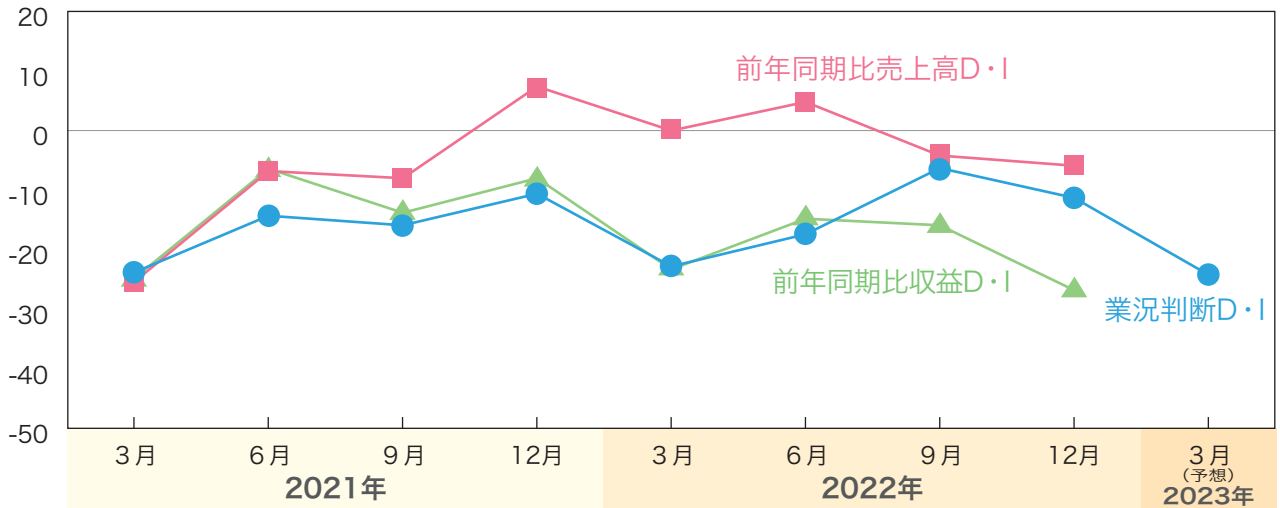
今期の業況判断指数(D・I値)は、△11.3と前期(7月～9月)より5.0ポイント悪化し、マイナス圏内は12期連続となりました。全8業種中、サービス業で改善、不動産・建設業では維持、残りの5業種は悪化となりました。売上高D・Iは△5.9と前期比1.7ポイント悪化しましたが、製造・不動産業では好転しました。収益D・Iは△26.8と同10.9ポイント悪化、不動産業以外はすべての業種がマイナス圏内に止まっております。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△10.6	△6.3	△11.3	△24.2
売上高D・I	7.4	△4.2	△5.9	-
収益D・I	△8.0	△15.9	△26.8	-

来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数(D・I値)は△24.2と今期実績比12.9ポイントの下降が見込まれます。業種別では、8業種中、運輸業で改善、残りの7業種は悪化の予想です。物価上昇、原油価格等の高騰に加えて海外情勢の緊迫化が続き、先行きの懸念が心理要因となったと思われます。なお、日銀の長期金利の許容上限が0.5%に引上げされた影響は加味されておりません。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	26.1	30.4	43.5	21.7
卸 売	50.0	64.3	64.3	35.7
小 売	25.5	49.1	39.6	24.5
サービス	6.7	20.0	20.7	24.2
建 設	23.3	46.5	25.6	11.7
不 動 産	14.3	28.6	-	△14.3
運 輸	76.5	23.5	35.3	17.6
農 業	25.9	14.8	15.4	15.4

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	56.5	65.2	69.6	47.8
卸 売	57.1	71.4	71.4	35.7
小 売	52.7	58.2	56.6	39.6
サービス	40.0	66.7	65.5	58.6
建 設	72.1	76.7	69.8	46.5
不 動 産	14.3	28.6	-	-
運 輸	△52.9	88.2	70.6	47.1
農 業	37.0	74.1	73.1	46.2

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△43.5	△26.1	△30.4	△26.1
卸 売	△28.6	△35.7	△35.7	△35.7
小 売	△20.0	△23.6	△20.8	△18.9
サービス	△10.0	△40.0	△38.0	△38.0
建 設	△27.9	△51.2	△46.5	△34.9
不動産	△14.3	0.0	△14.3	△14.3
運 輸	△47.1	△64.7	△52.9	△58.8
農 業	-	-	-	-

○残業時間D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△4.4	4.4	8.7	△8.7
卸 売	7.1	0.0	-	-
小 売	0.0	△10.9	△1.8	△1.8
サービス	△3.3	10.0	20.7	17.2
建 設	△2.4	2.3	2.3	△7.0
不動産	-	-	-	-
運 輸	△5.9	5.9	△5.9	0.0
農 業	-	-	-	-

○借入金の動き・難易度

(%)

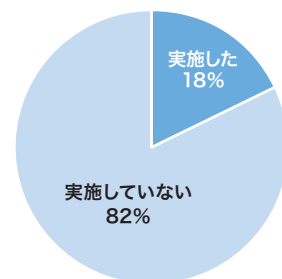
	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し た	あ る	容 易	変わらない	難しい	該当なし
製 造	17.4	17.4	8.7	65.2	8.7	17.4
卸 売	21.4	14.3	28.6	71.4	-	-
小 売	22.6	11.3	3.8	69.8	9.4	17.0
サービス	24.1	17.2	10.3	79.3	-	10.4
建 設	23.3	16.7	34.9	58.1	7.0	-
不動産	-	-	-	85.7	-	14.3
運 輸	29.4	11.8	11.8	64.7	17.6	5.9

○設備投資の動き

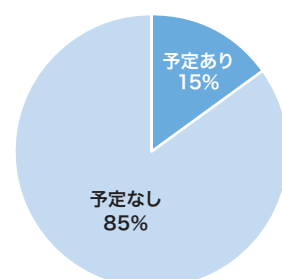
(%)

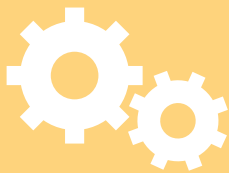
	前年同期	前 期	今 期	実施予定
製 造	21.7	26.1	13.0	17.4
卸 売	7.1	14.3	35.7	21.4
小 売	12.7	7.3	17.0	5.7
サービス	16.7	16.7	13.8	13.8
建 設	14.0	30.2	25.6	20.9
不動産	-	-	-	-
運 輸	5.9	11.8	-	23.5
農 業	3.7	11.1	15.4	11.5

2022年10月~12月期
設 備 投 資

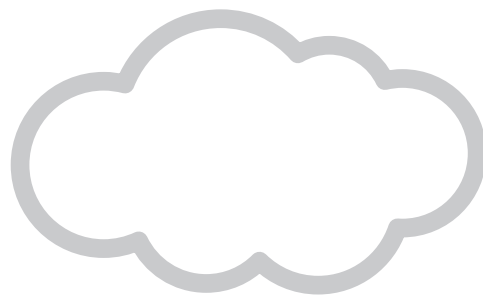


今後3ヶ月以内
設 備 投 資 計 画





製造業



概況

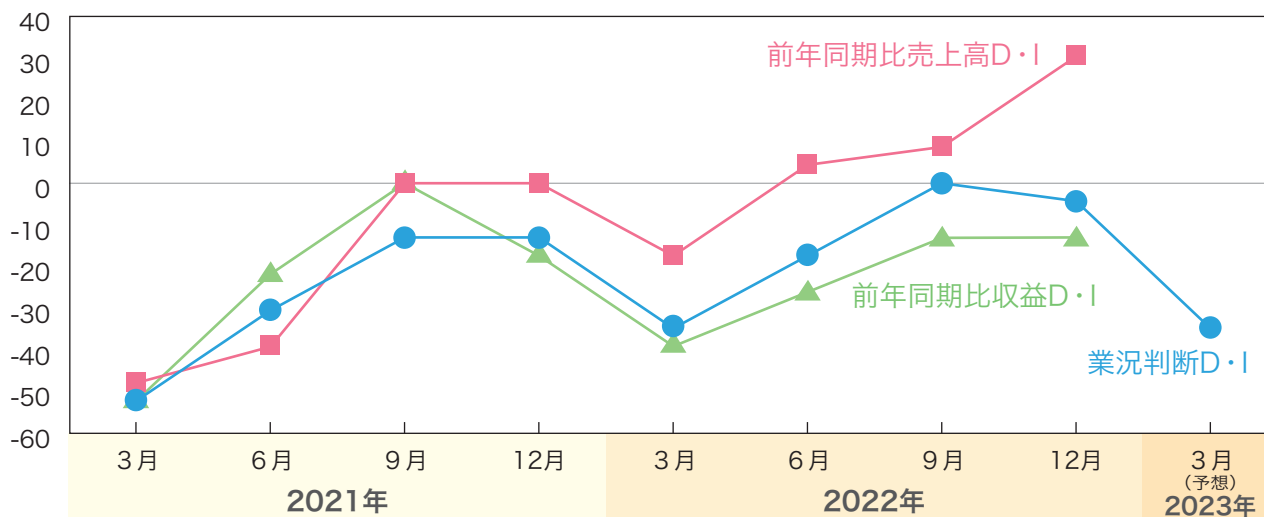
今期の業況判断指数(D・I値)は、△4.3と前期(7月～9月)に比べ4.3ポイント下降しました。出版印刷・窯業土木製品製造業で改善、その他の各業種ではやや下降または維持となりましたが、食料品製造業で悪化しました。売上D・I値は30.4ポイントとなり、消費動向の回復や価格転嫁が進んでいると見込まれますが、収益D・I値は△13.0ポイントと水面下の状況にあり、採算好転までには至っていないと思われます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△13.0	0.0	△4.3	△34.8
売上高D・I	0.0	8.7	30.4	—
収益D・I	△17.4	△13.1	△13.0	—

来期の見通しについて

金属・建設用金属製品・その他製造業で現状維持、他の業種ではやや悪化の予想見込みで、特に食料品製造業の大幅な下落予測が、業況D・Iの押下げ要因となりました。当期実績を大きく下回り、厳しい業況の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・大手メーカーの受注確保し、一定水準の売上が見込まれる。
- ・売上げ停滞が続いており、Amazonの広告等インターネットを利用した販路拡大で業況改善を図っている。
- ・販売価格の値上げを実施。値上げ後の売れ行きは比較的好調。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 52.2%	原材料高 65.2%
第2位	工場・機械の狭小・老朽化 47.8%	人手不足 売上の停滞・減少 30.4%
第3位	原材料高 43.5%	工場・機械の狭小・老朽化 26.1%

(複数回答)

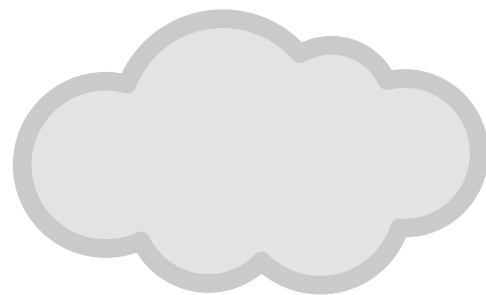
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 60.9%	経費を節減する 47.8%
第2位	人材を確保する 52.2%	販路を広げる 人材を確保する 39.1%
第3位	販路を広げる 47.8%	情報力を強化する 21.7%

(複数回答)



卸売業



概況

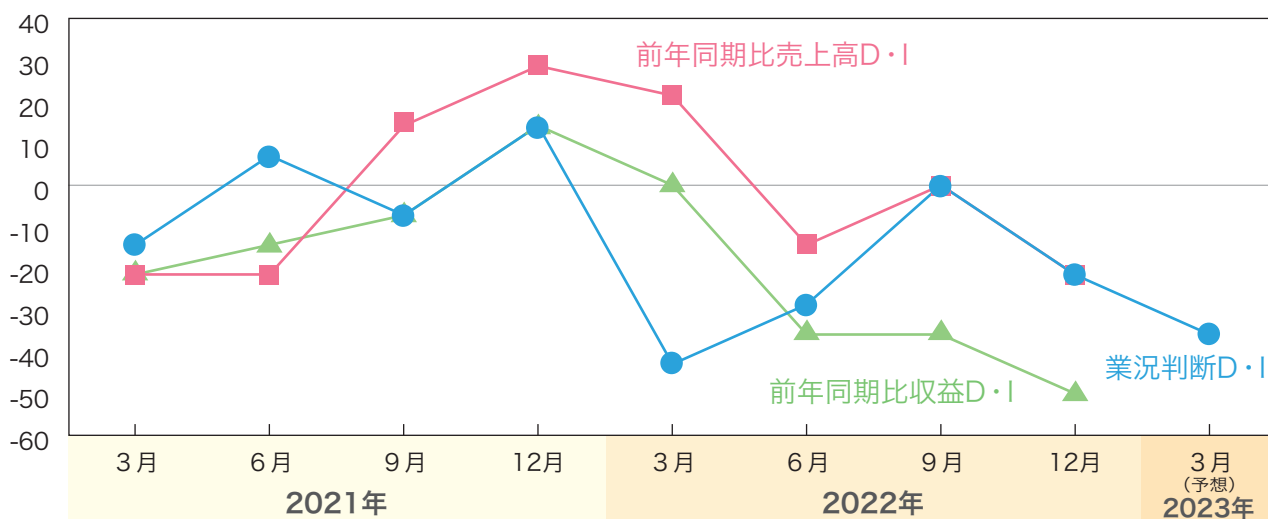
今期の業況判断指数(D・I値)は、△21.5と前期(7月～9月)に比べ21.5ポイント悪化しました。機械器具卸売業で改善しましたが、食料・飲料、建築材料卸売業での大きな悪化が押し下げ要因となりました。売上D・I値も△21.5ポイント悪化、緩やかな回復基調から一転、大きく下降しました。収益D・I値は△14.2ポイント下落、仕入価格及び配送コストの負担増が影響しました。全体では比較的低調な業況となりました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	14.3	0.0	△21.5	△35.8
売上高D・I	28.6	0.0	△21.5	—
収益D・I	14.3	△35.8	△50.0	—

来期の見通しについて

食料・飲料品卸売業で下降を見込み、その他の業種では前期並み水準を予想するも、低調な業況が継続される見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・外国から輸入している木材価格が高騰し、国内の価格と同等の価格になっている。当社としては良い傾向である。
- ・従業員(職人)の高齢に伴い、人手確保・人材育成が課題となっている。
- ・原油高騰の影響は多少あるが、売上単価に転嫁できることから資金繰りに不安はない。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 35.7%	仕入先からの値上げ要請 50.0%
第2位	仕入先からの値上げ要請 販売商品の不足 28.6%	売上の停滞・減少 42.9%
第3位	人手不足 流通経路の変化による競争の激化 他 21.4%	人手不足 35.7%

(複数回答)

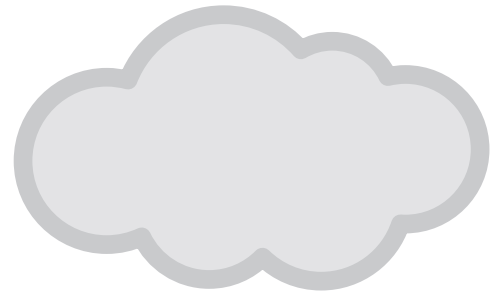
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 57.1%	人材を確保する 販路を広げる 50.0%
第2位	経費を節減する 42.9%	経費を節減する 42.9%
第3位	人材を確保する 35.7%	情報力を強化する 28.6%

(複数回答)



小売業



概況

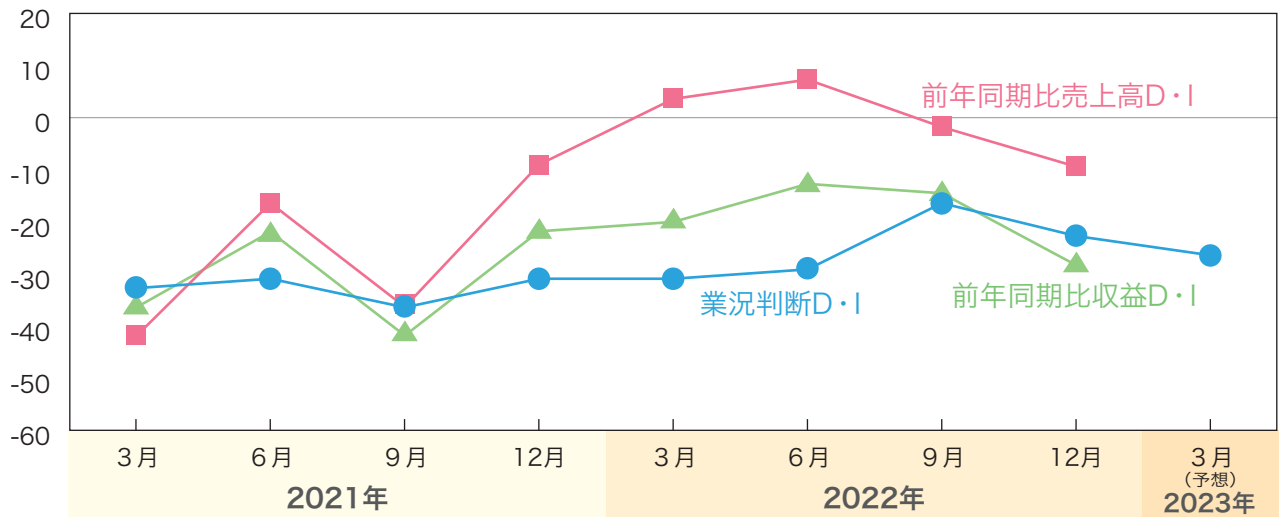
今期の業況判断指数（D・I値）は、△22.7と前期（7月～9月）に比べ6.3ポイント悪化し冴えない業況でした。飲食店・木材・建築材料・その他小売業でやや改善、燃料・飲食料品・自動車小売業で下降しました。売上D・I値及び収益D・I値は其々が悪化、コロナの数次にわたる感染拡大や仕入価格上昇による消費動向の落込みの影響を受けました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△30.9	△16.4	△22.7	△26.4
売上高D・I	△9.0	△1.8	△9.4	—
収益D・I	△21.8	△14.5	△28.3	—

来期の見通しについて

医薬品化粧品・その他小売業で改善、飲食店・スポーツ用品・燃料小売業では下降が見込まれ、全体では今期実績よりもやや悪化、比較的低調な見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・コロナ禍による生活が一般化してしまい、過去の需要は戻らないのではないかと考えている。
- ・原油価格高騰による影響が大きい。コロナ禍における経営は多少安定しつつある。
- ・薬の仕入先が業務停止となり、確保が困難となっている。
- ・仕入価格の高騰により、販売価格を上げたことにより、固定客が大型スーパーに流れた。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	商圏人口の減少	56.4%	売上の停滞・減少 商圏人口の減少	50.9%
第2位	売上の停滞・減少	47.3%	人手不足 利幅の縮小	22.6%
第3位	人手不足	20.0%	仕入先からの値上げ要請	17.0%

(複数回答)

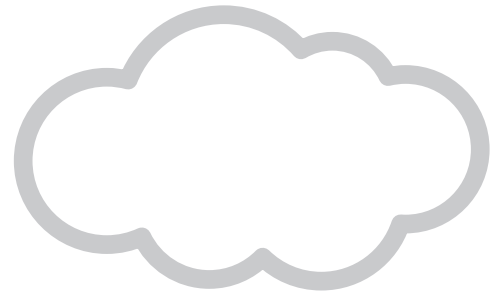
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費を節減する	58.2%	経費を節減する	58.5%
第2位	売れ筋商品を取扱う	23.6%	人材を確保する	26.4%
第3位	人材を確保する	20.0%	売れ筋商品を取扱う	22.6%

(複数回答)



サービス業



概況

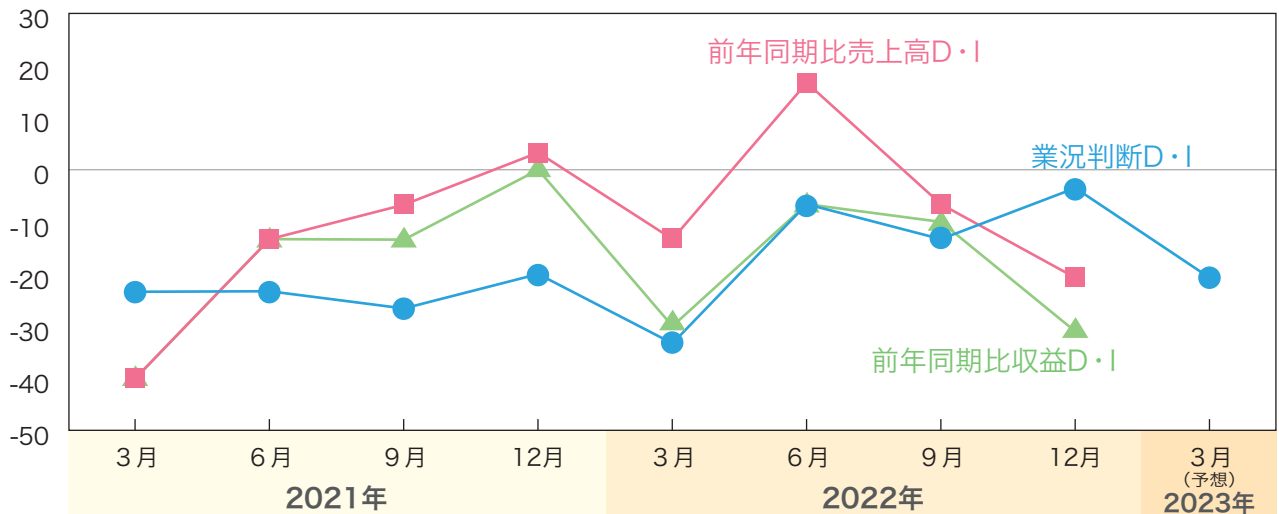
今期の業況判断指数(D・I値)は、△3.5と前期(7月～9月)に比べ9.8ポイント改善しましたが、冴えない業況となりました。自動車整備及びその他のサービス業において好転し、特に車両部品等の流通が回復した影響が大きいと思われます。売上D・I値は2期、収益D・I値は5期連続でマイナス圏内となり、仕入価格上昇の波はサービス業にも及んでいると思われます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△20.0	△13.3	△3.5	△20.7
売上高D・I	3.3	△6.6	△20.7	—
収益D・I	0.0	△10.0	△31.0	—

来期の見通しについて

洗濯・理容・浴場業及びその他サービス業で下降、その他の業種は現状維持を見込んでおり、全体では悪化の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・遊園地の売上げ回復が顕著であった。
- ・物価上昇におけるメニューの提供金額の値上げを懸念している。
- ・自動車の部品の流通が回復してきており、来年は増収を見込む。
- ・最近、補助金を活用し、販路拡大に向けて動いている。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商圏人口の減小 50.0%	人手不足 44.8%
第2位	売上の停滞・減少 33.3%	商圏人口の減小 34.5%
第3位	材料価格の上昇 人手不足 23.3%	材料価格の上昇 31.0%

(複数回答)

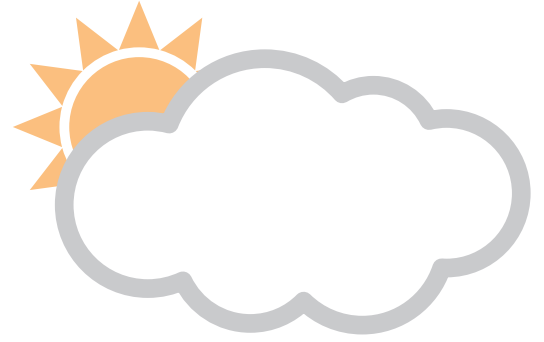
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 60.0%	経費を節減する 55.2%
第2位	販路を広げる 30.0%	販路を広げる 41.4%
第3位	技術力を強化する 20.0%	人材を確保する 37.9%

(複数回答)



建設業



概況

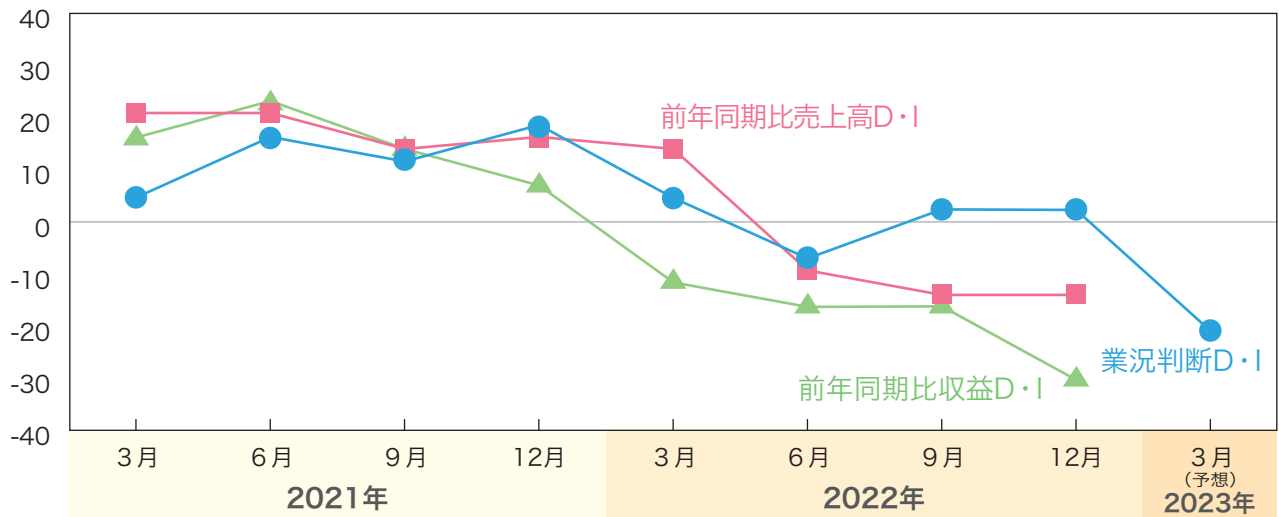
今期の業況判断指数(D・I値)は、2.3と前期(7月～9月)から0.1ポイント下降したものの、2期連続でプラス圏内を維持しました。職別工事業で上昇、設備工事業で小幅下降したものの、前期並みの業況が維持されました。売上高D・I値は前期と変わらなかったもののマイナス圏内に止まり、収益D・I値は、仕入価格や人件費等のコスト増加の動きを反映したもののと思われます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	18.6	2.4	2.3	△20.9
売上高D・I	16.3	△14.0	△14.0	—
収益D・I	7.0	△16.2	△30.3	—

来期の見通しについて

職別工事業で大きく下降、設備工事業でもやや下降を予想しており、全体では比較的低調な見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・公共工事主体、入札競争が厳しくなる見込み。受注単価競争と資材、燃料価格高騰により、業界全体の収益が低下になるものと見込む。
- ・公共工事の受注は良好な水準。今後は、冬場の降雪量により、売上げ・収益が左右される。
- ・大型公共工事受注により、売上は前年上回る見込み。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	材料価格の上昇	53.5%	材料価格の上昇	67.4%
第2位	人手不足	37.2%	人手不足	58.1%
第3位	同業者間の競争の激化	20.9%	売上の停滞・減少 同業者間の競争の激化	23.3%

(複数回答)

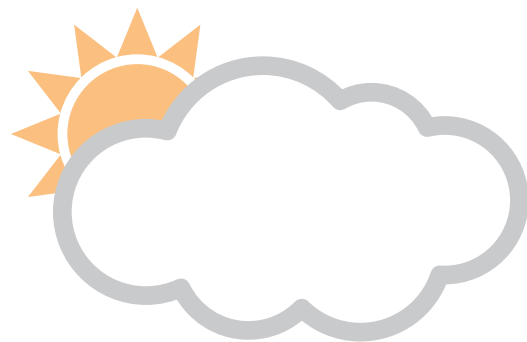
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	人材を確保する	48.8%	経費を節減する 人材を確保する	51.2%
第2位	経費を節減する	34.9%	技術力を強化する	41.9%
第3位	技術力を強化する	23.3%	販路を広げる	30.2%

(複数回答)



不動産業



概況

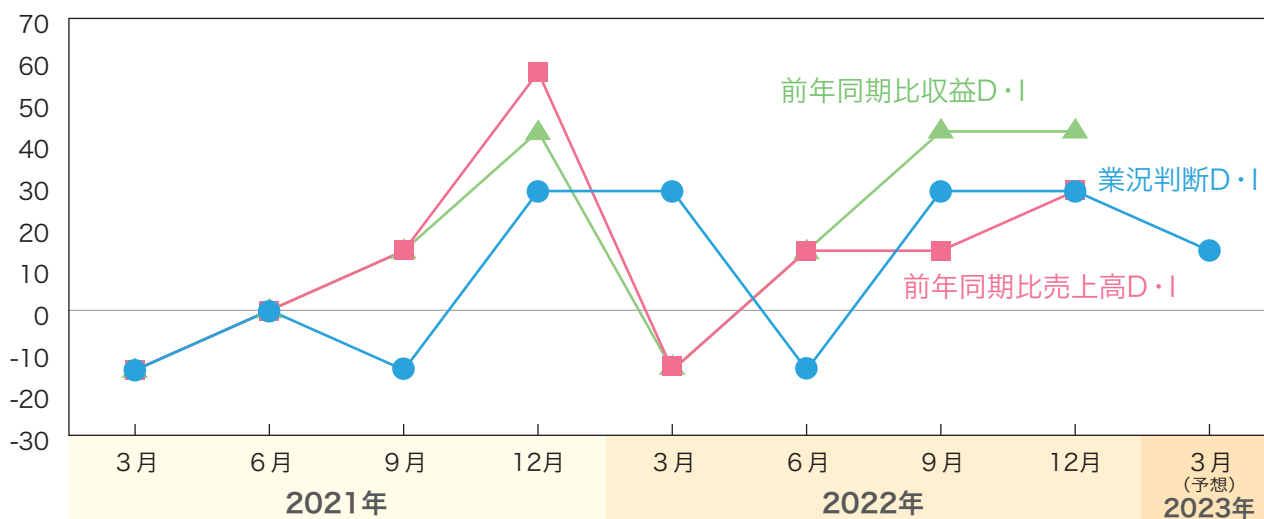
今期の業況判断指数(D・I値)は、28.6と前期(7月~9月)と変わらず、比較的好調な業況が続き、2期連続でプラス圏内を維持しました。貸家業及び不動産代理・仲介業が好調、貸事務所業も前期並みの水準が維持されました。売上高D・I値は28.6と前期+14.3ポイント上昇、収益D・I値も42.9となり、前期から高水準で推移しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	28.6	28.6	28.6	14.3
売上高D・I	57.1	14.3	28.6	-
収益D・I	42.9	42.9	42.9	-

来期の見通しについて

不動産代理・仲介業では冬期要因が考慮され下降予測ですが、貸事務所・貸家業では現状維持を見込んでおり、全体では頭打ちながらも安定した業況の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・コロナ禍の影響は多少あるが、親会社の連携から資金繰りに不安はない。
- ・堅調な稼働振り。貸しビルの立地も良く、高稼働が維持できている。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商品物件の縮小 42.9%	人件費以外の経費の増加 42.9%
第2位	同業者間の競争の激化 利幅の縮小 28.6%	商品物件の高騰 商品物件の縮小 人件費の増加 同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少 28.6%

(複数回答)

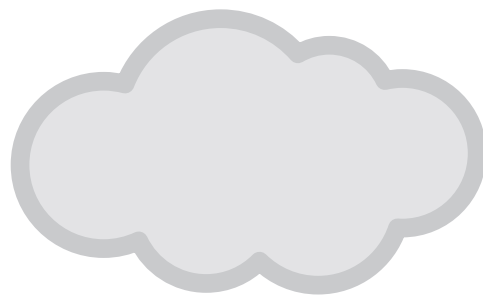
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 71.4%	経費を節減する 57.1%
第2位	情報力を強化する 57.1%	販路を広げる 不動産の有効活用を図る 42.9%
第3位	宣伝・広告を強化する 42.9%	情報力を強化する 宣伝・広告を強化する 28.6%

(複数回答)



運輸業



概況

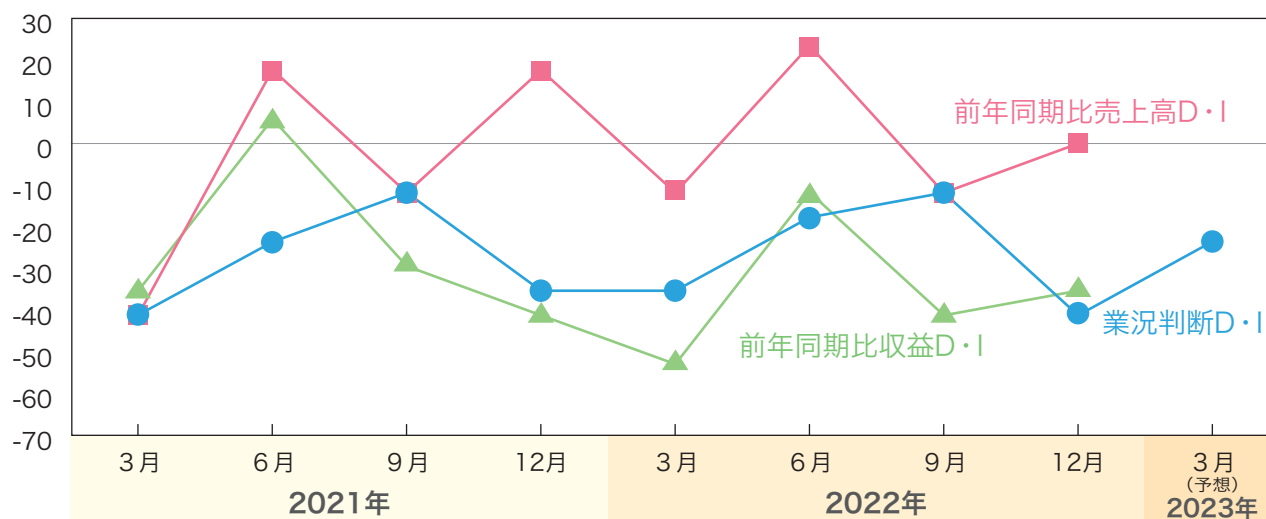
今期の業況判断指数（D・I値）は、△41.2と前期（7月～9月）から29.4ポイント下降し、業況は低迷しました。要因は、新型コロナ禍での経済対策も、第8波の感染拡大、原油価格高騰等の余波を受け、ハイヤー等旅客業・貨物自動車・通運業で大きく悪化したものです。売上高D・I値で11.8ポイント、収益D・I値で5.9ポイント改善となり、物流の緩やかな回復、価格転嫁等によりマイナス幅は小幅ながら好転しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△35.3	△11.8	△41.2	△23.5
売上高D・I	17.6	△11.8	0.0	—
収益D・I	△41.2	△41.2	△35.3	—

来期の見通しについて

貨物自動車・通運業は前期並みを予想し、その他運輸業で改善を見込み、全体ではやや改善の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・新型コロナウイルスの影響が依然として続いている。道民割の恩恵もあまりない。
- ・年末の繁忙期を前にコロナ再流行で、当社売上げも減少見込み。
- ・従業員の高齢化が進み、人手不足の状態。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	燃料価格の上昇	100.0%	燃料価格の上昇	94.1%
第2位	人手不足	58.8%	人手不足	70.6%
第3位	売上の停滞・減少	23.5%	売上の停滞・減少	41.2%

(複数回答)

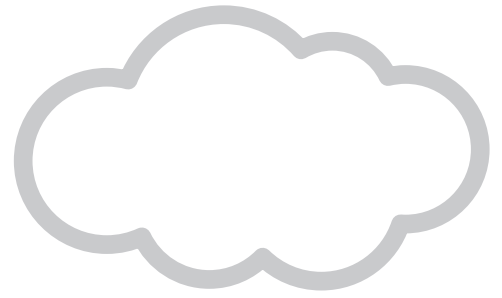
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費を節減する	76.5%	経費を節減する	76.5%
第2位	販路を広げる	41.2%	販路を広げる	41.2%
第3位	労働条件を改善する	29.4%	教育訓練を強化する	23.5%

(複数回答)



農業

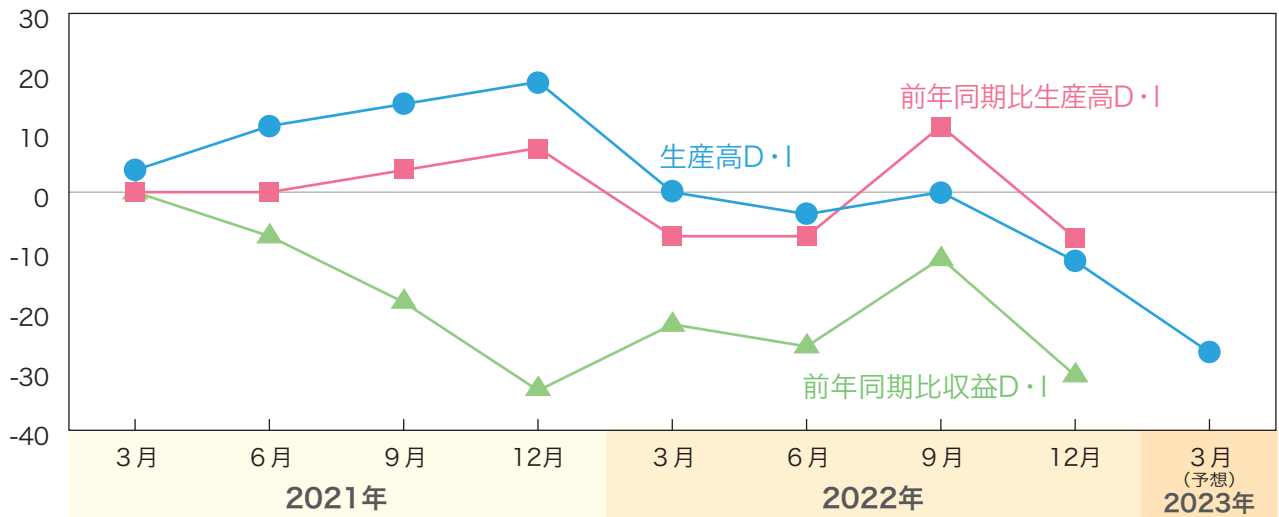


概況

生産高D・I値は、前期比11.6ポイント悪化しました。10月の収穫時期は、高温や前線の影響により大雨となる等、周期的に天候が変動しました。基幹作物の水稻の作付指標は「105・やや良」、小麦や大豆も「平年並み」となっております。収益D・Iは△30.8となり前期比19.7ポイント悪化し、7期連続でマイナス圏内となりました。要因は、米価は小幅値上げで推移したものの、飼料・肥料等は更なる高騰が続いたためと思われます。水田利活用交付金制度の見直しを巡る議論に加え、畑作物の直接支払交付金の見直し及び畑地化促進事業が着手されており、これらを踏まえた農業経営を見通すため模索している状況です。

	前年同期	前 期	今 期	見 通 し
生産高D・I	18.5	0.0	△11.6	△26.9
前年同期比生産高D・I	7.4	11.1	△7.7	—
収益D・I	△33.3	△11.1	△30.8	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント (聞き取りを含む) の一部

- ・肥料等高騰したが、自助努力により収益性は悪化していない。
- ・にんにく加工を受託し、収益に貢献。
- ・資材が高騰し、来年度収益低下を見込む。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	生産者価格の低迷	44.4%	経費の増加	65.4%
第2位	受注(需要)の停滞・減少	37.0%	人手不足	53.8%
第3位	人手不足	29.6%	生産資材等価格の上昇	50.0%

(複数回答)

特別調査

2023年(令和5年)の経営見通し

当金庫が今回実施致しました第146回中小企業景気動向調査と併せて(運輸業と農業を除く)172先について「2023年(令和5年)の経営見通し」をアンケート調査した結果です。

問1. 貴社では、2023年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|---------|------|---------|
| 1 非常に良い | 4 普通 | 5 やや悪い |
| 2 良い | | 6 悪い |
| 3 やや良い | | 7 非常に悪い |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 良い	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	2.3%	0.0%	1.8%
3 やや良い	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	2.3%	14.3%	1.8%
4 普通	21.7%	7.1%	15.1%	13.8%	20.9%	14.3%	16.6%
5 やや悪い	56.5%	50.0%	47.2%	48.3%	51.2%	42.9%	49.7%
6 悪い	21.7%	35.7%	26.4%	34.5%	18.6%	28.6%	26.0%
7 非常に悪い	0.0%	0.0%	7.5%	3.4%	4.7%	0.0%	4.1%

2023年の景気見通しに対し、全事業先で「良い」(やや良い・非常に良いを含む)と回答した先は3.6%(5.8%)に止まりました。「普通」の回答率が16.6%(22.7%)、「悪い」(やや悪い・非常に悪いを含む)と回答した事業先は全体で79.8%(71.5%)となっております。景気の見通しを対前年比で見ると、「良い」△2.2%、「普通」△6.1%、「悪い」+8.3%となっており、前年度よりもさらに厳しい予想を見通しております。「悪い」(やや悪い・非常に悪いを含む)とした業種はサービス業86.2%(89.9%)が最も高く、以下卸売業85.7%(57.1%)、小売業81.1%(72.8%)が続いております。

※()は前年度実績

問2. 貴社では、2023年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|---------|------|---------|
| 1 非常に良い | 4 普通 | 5 やや悪い |
| 2 良い | | 6 悪い |
| 3 やや良い | | 7 非常に悪い |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.6%
3 やや良い	0.0%	0.0%	5.7%	3.4%	7.0%	0.0%	4.1%
4 普通	39.1%	42.9%	41.5%	51.7%	55.8%	71.4%	47.9%
5 やや悪い	56.5%	42.9%	39.6%	31.0%	23.3%	14.3%	35.5%
6 悪い	4.3%	14.3%	7.5%	10.3%	11.6%	14.3%	9.5%
7 非常に悪い	0.0%	0.0%	5.7%	3.4%	0.0%	0.0%	2.4%

2023年の自社の業況(景気)見通しは、前問の「日本の景気見通し」とは違い全事業先を見ると「普通」が47.9%(44.8%)と最も多くなりました。全事業先で「良い」(やや良い・非常に良いを含む)と回答した先は4.7%(9.9%)で、コロナ禍に加えウクライナ侵攻、円安等への不安な心理状況がうかがわれます。また、「悪い」(やや悪い・非常に悪いを含む)47.4%(45.3%)とやや高止まりし、前年度よりはやや悪化しております。業種別では、製造業60.8%(47.7%)・卸売業57.2%(21.4%)・小売業52.8%(52.7%)の順に「悪い」と見通していますが、特に卸売業では前期比大きく悪化しました。

※()は前年度実績

問3. 2023年において貴社の売上額の伸び率は、2022年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|-------------|---------|-------------|
| 1 30%以上の増加 | 5 変わらない | 6 10%未満の減少 |
| 2 20~29%の増加 | | 7 10~19%の減少 |
| 3 10~19%の増加 | | 8 20~29%の減少 |
| 4 10%未満の増加 | | 9 30%以上の減少 |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 30%以上の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.6%
2 20~29%の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3 10~19%の増加	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	1.2%
4 10%未満の増加	13.0%	0.0%	17.0%	24.1%	9.3%	14.3%	14.2%
5 変わらない	52.2%	57.1%	39.6%	41.4%	48.8%	71.4%	46.7%
6 10%未満の減少	21.7%	35.7%	34.0%	24.1%	25.6%	14.3%	27.8%
7 10~19%の減少	8.7%	0.0%	9.4%	6.9%	9.3%	0.0%	7.7%
8 20~29%の減少	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	1.2%
9 30%以上の減少	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.6%

2023年における自社の売上額の伸び率は全体では「変わらない」と回答した先が46.7%(50.0%)と、最も多くなりました。全事業先で「増加」(10%未満~30%以上を含む)と回答した先は16.0%(23.8%)で、業種別ではサービス業24.1%(16.6%)・製造業17.3%(17.4%)・小売業17.0%(23.6%)の順となっております。また、全事業先で「減少」(10%未満~30%以上を含む)と回答した先は37.3%(26.1%)となりました。業種別では、小売業43.4%(34.5%)・卸売業42.8%(7.1%)・建設業37.2%(25.6%)の順で減少を見通しています。

※()は前年度実績

問4. 貴社では、自社の業況が向上く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 すでに上向いている | 5 3年後 |
| 2 6か月以内 | 6 3年超 |
| 3 1年後 | 7 業況改善の見通しは立たない |
| 4 2年後 | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 すでに上向いている	8.7%	7.1%	9.4%	17.2%	23.3%	14.3%	14.2%
2 6か月以内	4.3%	0.0%	3.8%	0.0%	2.3%	0.0%	2.4%
3 1年後	13.0%	14.3%	11.3%	10.3%	14.0%	28.6%	13.0%
4 2年後	13.0%	14.3%	13.2%	6.9%	14.0%	14.3%	12.4%
5 3年後	17.4%	7.1%	18.9%	13.8%	11.6%	28.6%	15.4%
6 3年超	17.4%	21.4%	17.0%	10.3%	11.6%	0.0%	14.2%
7 業況改善の見通しは立たない	26.1%	35.7%	26.4%	41.4%	23.3%	14.3%	28.4%

自社の業況が向上く転換点では、全業種を通じ「業況改善の見通しは立たない」が28.4%（21.5%）で最も多くなりました。業種別では、サービス業・卸売業・小売業の順となり、それぞれ41.4%（16.7%）、35.7%（28.6%）、26.4%（25.5%）となっております。1年後以内（すでに上向いている・6か月以内を含む）を転換点とする回答は29.6%（41.8%）で、業種別では、不動産業42.9%（28.6%）が最も高く、以下建設業39.6%（39.6%）、サービス業27.5%（50.0%）と続いております。

※（ ）は前年度実績

問5. 2023年の事業環境を展望したとき、貴社にとっての経営リスクは何ですか。最も当てはまるものを1～0から3つ以内で選んでお答えください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 原材料・仕入価格の更なる高騰 | 6 取引先廃業等による売上げ激減 |
| 2 原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰 | 7 経営者や従業員の健康問題 |
| 3 コロナなど感染症の感染再拡大 | 8 コロナ融資の返済 |
| 4 ロシア・ウクライナを含む海外情勢の緊迫化 | 9 円安・インフレの加速 |
| 5 台風・豪雨・地震・噴火などの自然災害 | 0 その他（ ） |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 原材料・仕入価格の更なる高騰	40.4%	36.4%	37.6%	28.8%	38.1%	6.7%	35.2%
2 原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰	27.7%	15.2%	18.4%	19.7%	22.7%	6.7%	20.1%
3 コロナなど感染症の感染再拡大	8.5%	6.1%	16.8%	18.2%	7.2%	33.3%	13.3%
4 ロシア・ウクライナを含む海外情勢の緊迫化	4.3%	3.0%	6.4%	6.1%	5.2%	13.3%	5.7%
5 台風・豪雨・地震・噴火などの自然災害	0.0%	3.0%	1.6%	1.5%	4.1%	6.7%	2.3%
6 取引先廃業等による売上げ激減	4.3%	18.2%	6.4%	7.6%	2.1%	6.7%	6.3%
7 経営者や従業員の健康問題	4.3%	3.0%	4.0%	9.1%	9.3%	6.7%	6.3%
8 コロナ融資の返済	2.1%	0.0%	0.8%	1.5%	3.1%	6.7%	1.8%
9 円安・インフレの加速	8.5%	15.2%	6.4%	6.1%	7.2%	13.3%	7.8%
0 その他（ ）	0.0%	0.0%	1.6%	1.5%	1.0%	0.0%	1.0%

（複数回答）

2023年の事業環境を展望した時の経営リスクについては、「原材料・仕入価格の更なる高騰」35.2%が最も高く、以下「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰」20.1%、「コロナなど感染症の感染再拡大」13.3%が続きました。国内外情勢に対する危機感がうかがわれます。不動産業を除く全ての業種において、「原材料・仕入価格の更なる高騰」のリスク選択が最大の割合となっております。

主要経済指標

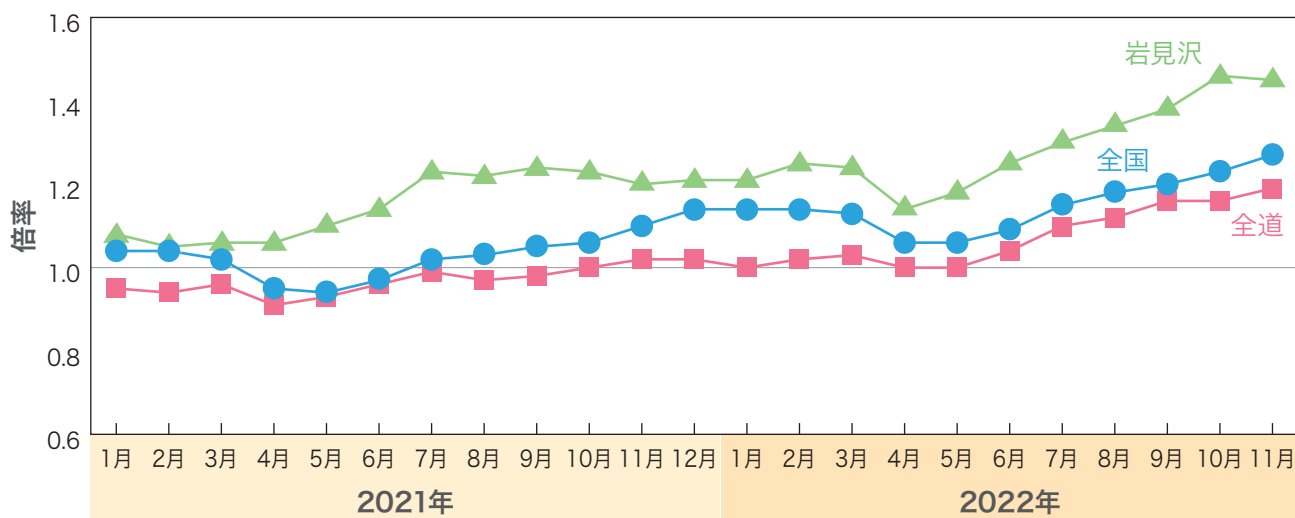
1. 空知管内・江別の人口動向

(人)

	2021年	2022年										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
岩見沢市	78,124	77,971	77,875	77,503	77,518	77,421	77,378	77,324	77,192	77,095	77,000	76,864
美唄市	20,003	19,965	19,914	19,807	19,795	19,759	19,742	19,738	19,698	19,646	19,584	19,552
三笠市	7,930	7,936	7,880	7,876	7,895	7,853	7,853	7,841	7,818	7,800	7,755	7,742
栗山町	11,308	11,280	11,269	11,212	11,199	11,208	11,197	11,182	11,176	11,176	11,146	11,130
南幌町	7,379	7,384	7,378	7,366	7,391	7,394	7,413	7,434	7,446	7,469	7,500	7,525
由仁町	4,870	4,864	4,854	4,846	4,842	4,838	4,841	4,837	4,834	4,818	4,804	4,790
長沼町	10,337	10,316	10,326	10,282	10,260	10,242	10,234	10,246	10,237	10,220	10,194	10,177
江別市	119,712	119,621	119,535	119,126	119,439	119,396	119,379	119,391	119,386	119,334	119,319	119,252

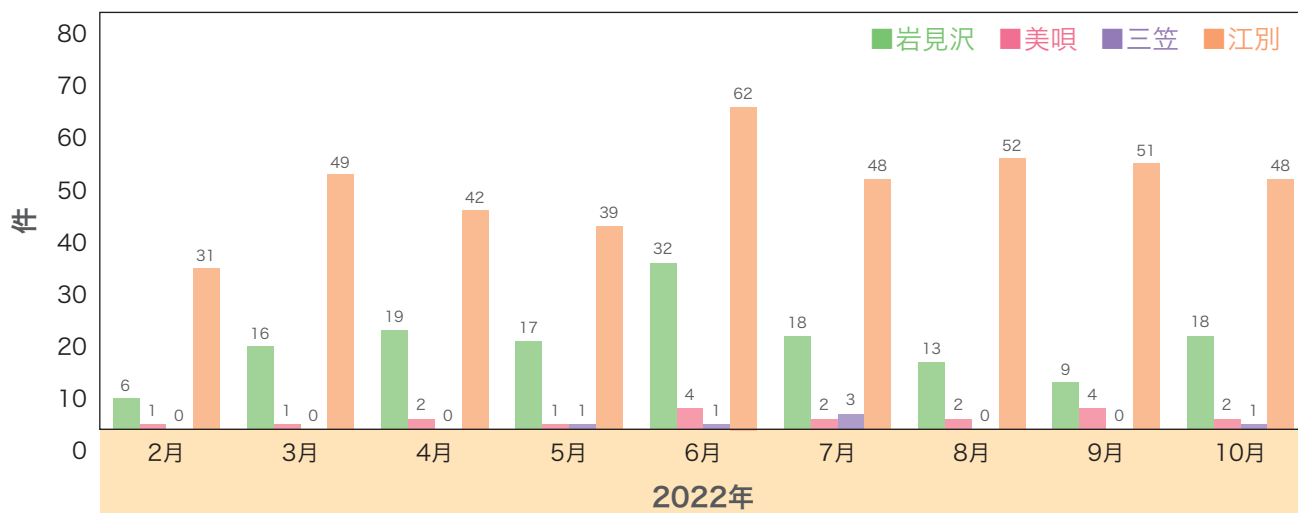
(資料：空知総合振興局)

2. 岩見沢管内の有効求人倍率



(資料：北海道労働局)

3. 建築確認申請数(4号) ※4号…木造2階建て以下の建築物

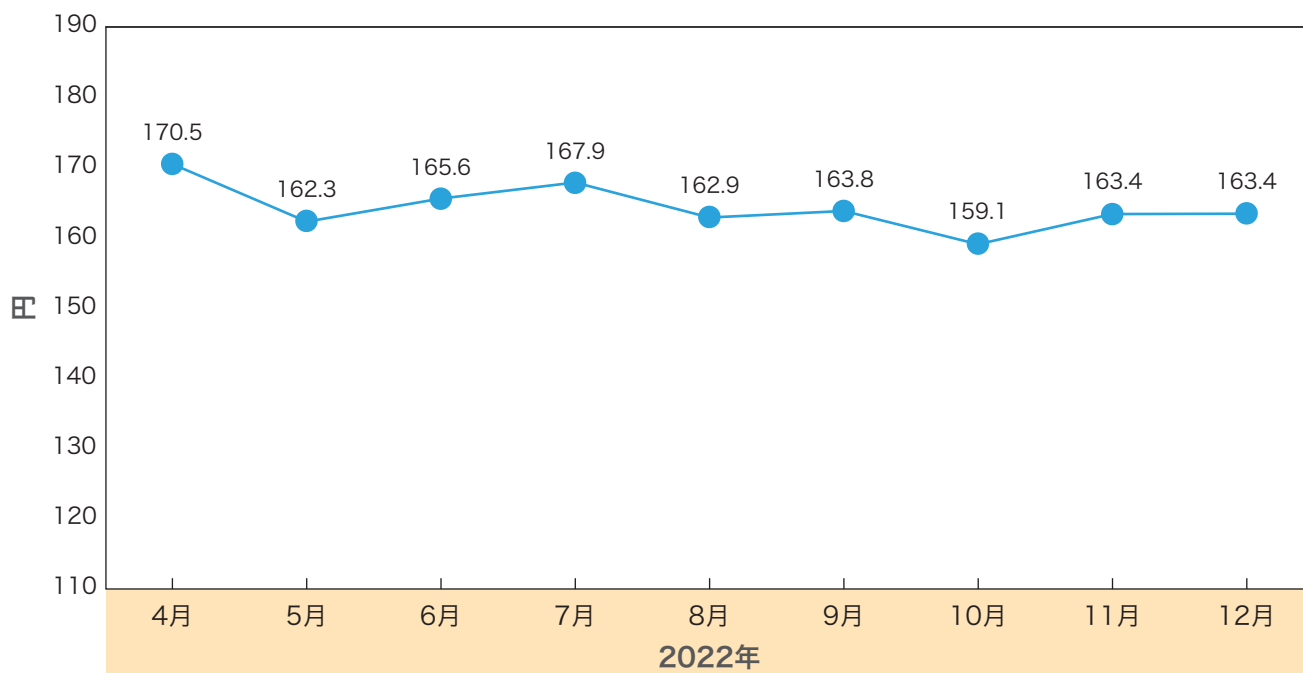


(資料：北海道建設新聞社)

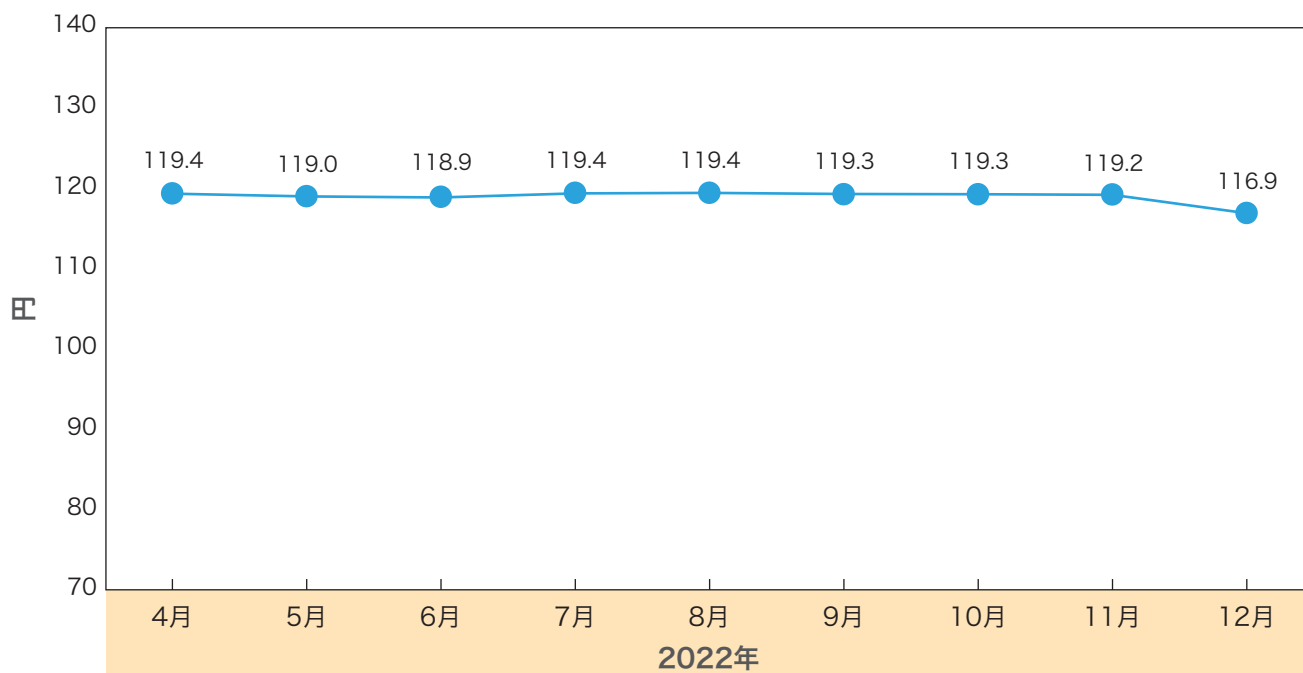
4. 管内のガソリン価格・灯油価格

(岩見沢市・美幌市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの)

① ガソリン



② 灯油



(資料：北海道消費者協会)

ビジネスマッチングコーナー

このコーナーでは、空知信用金庫のお取引先企業様をご紹介します。皆様の販路拡大やビジネスの連携をサポートする「誌上ビジネスマッチング」の場として、お役立てください。お問い合わせは、直接掲載企業もしくは、当金庫 地域支援部までご連絡ください。

(株) KURIMU

取引店：栗山支店

クリムのじんぎすかんをオープンして今年で5周年！

お客様にご満足いただけるジンギスカンの製造、販売に日々力を入れております。

弊社のジンギスカンは野菜を入れても薄くならないしっかりとした味付けにこだわっており、定番の味付けの他、色々な種類の味付けをその日の気分で楽しんでいただけます。

その他にも骨付肉のラムチョップも食べ応えバツグン!!

ホルモンは甘みのある味付けで、お子様から大人まで人気の商品です!!

店舗閉店後も自動販売機での販売もしておりますので是非一度ご賞味いただけますと幸いです。



〒069-1507 夕張郡栗山町字旭台1-126
担当者：齊藤 隆浩 様
Tel 0123-76-7733 Fax 0123-76-7743
Hp <https://www.kurimu.jp/>
E-mail kurimu@beach.ocn.ne.jp

空知信用金庫の社会的取組

空知信用金庫では、地域のお客様を直接サポートする機能強化を図るため、平成29年4月、地域支援室を立ち上げ、令和3年3月より地域支援部となりました。

地域支援部では、以下のような事業や取組みを行っております。

ベンチャー型事業承継への取り組み～アトツギミーティングの開催 (令和4年11月)

当金庫では、取引先のアトツギや同族承継を検討中のアトツギを対象に、ベンチャー型事業承継を実践中の先輩経営者による小規模のトークセッション形式のイベントやグループディスカッションを実施し、家業の経営資源があるからこそ生み出せる新たな可能性や、同族承継ならではの苦労や克服に向けた取組みを共有する場を設け、アトツギが新しい取組みにチャレンジする機運を醸成するとともに、アトツギ同士の交流を促すことを目的とした取組みを実践しております。



そらちしんきん SDGsローン つなぐ未来

商品の概要

令和4年4月1日現在

ご利用いただける方	SDGs宣言企業、またはSDGsに取り組む事業者 ※SDGsの宣言や取組みがそのHPや会社案内等で確認できる、または「北海道SDGs推進ネットワーク」に入会している事業者。
お使いみち	SDGsの達成に向けて必要な設備資金
ご融資形態	証書貸付
ご融資金額	100万円以上3,000万円以内(1万円単位)
ご融資期間	1年以上7年以内 ※元金据置1年以内
ご融資利率	固定金利型 1.60%以上(北海道信用保証協会利用の際は▲0.20%)
ご返済方法	元利均等返済または元金均等返済
担保・保証人	原則、無担保・無保証人。ただし、法人の場合は代表者を連帯保証人とします。なお、北海道信用保証協会の利用も可とします。
商品事務取扱手数料	1案件につき 55,000円(税込)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 北海道信用保証協会「未来につなぐ地域社会応援保証制度」を利用する際、融資金額・融資期間については当該保証制度の定めるところとします。 本ローンご利用事業者については、その同意のもと、当金庫HPにて「そらちしんきんSDGsフレンズ」として公表します。 審査の結果によっては、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。 ご返済額の試算につきましては、店頭へお問い合わせください。 返済条件を変更する際は手数料が必要となります。 店頭に説明書をご用意しております。

詳しくは店頭までお問い合わせください

LINEでそらちしんきんと友だちになろう!

様々な情報をLINEでお届け!



店舗・ATMのご案内

店舗

ATMご利用時間

●平日 ●土曜日 ●土・日・祝日

岩見沢市内店	本店	〒068-8660	岩見沢市3条西6丁目2番地1	TEL 0126-22-1150	8:45~19:00	9:00~17:00
	鉄北支店	〒068-0042	岩見沢市北2条西11丁目1番3号	TEL 0126-24-6233	9:00~18:00	-
	日の出支店	〒068-0824	岩見沢市日の出北4丁目2番17号	TEL 0126-25-4555	9:00~18:00	-
	美園支店	〒068-0814	岩見沢市美園4条5丁目1番10号	TEL 0126-24-6363	9:00~18:00	-
	幌向支店	〒069-0371	岩見沢市幌向南1条2丁目112番地1	TEL 0126-26-2021	9:00~18:00	9:00~17:00
南空知管内	栗沢支店	〒068-0127	岩見沢市栗沢町本町55番地1	TEL 0126-45-2324	9:00~18:00	9:00~17:00
	美唄支店	〒072-0023	美唄市大通西1条南1丁目3番6号	TEL 0126-62-7511	9:00~18:00	9:00~17:00
	三笠支店	〒068-2153	三笠市幸町12番地7	TEL 01267-2-2383	9:00~18:00	9:00~17:00
	栗山支店	〒069-1511	夕張郡栗山町中央3丁目3番地	TEL 0123-72-0208	9:00~18:00	9:00~17:00
	由仁支店	〒069-1297	夕張郡由仁町本町148番地	TEL 0123-83-2011	9:00~18:00	-
札幌市・江別市内	長沼支店	〒069-1332	夕張郡長沼町中央南1丁目1番12号	TEL 0123-88-2131	9:00~18:00	-
	南幌支店	〒069-0237	空知郡南幌町栄町1丁目3番1号	TEL 011-378-2311	9:00~18:00	9:00~17:00
	札幌支店	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6丁目2番地	TEL 011-271-3421	9:00~18:00	-
	札幌北支店	〒001-0024	札幌市北区北24条西6丁目1番5号	TEL 011-757-3435	9:00~18:00	-
	琴似支店	〒063-0812	札幌市西区琴似2条3丁目1番12号	TEL 011-644-4422	9:00~18:00	-
	白石支店	〒003-0026	札幌市白石区本通5丁目南4番36号	TEL 011-862-7766	9:00~18:00	-
	平岸支店	〒062-0932	札幌市豊平区平岸2条9丁目2番11号	TEL 011-831-8555	9:00~18:00	-
	厚別支店	〒004-0065	札幌市厚別区厚別西5条2丁目1番27号	TEL 011-895-2111	9:00~18:00	-
	札幌西支店	〒063-0061	札幌市西区西町北20丁目3番10号	TEL 011-666-8111	9:00~18:00	-
	札幌東支店	〒065-0019	札幌市東区北19条東16丁目1番8号	TEL 011-783-3611	9:00~18:00	-
江別支店	〒067-0074	江別市高砂町8番地3	TEL 011-383-1011	9:00~18:00	9:00~17:00	

店舗外ATMコーナー

ご利用時間

●平日 ●土・日・祝日

岩見沢市	J R 岩見沢駅(共同ATM)	岩見沢市有明町南	9:00~21:00	9:00~21:00
	ビッグハウス岩見沢店(共同ATM)	岩見沢市大和1条9丁目	9:00~21:00	9:00~21:00
	イオン岩見沢店	岩見沢市大和4条8丁目	9:00~19:00	9:00~17:00
	本店春日出張所	岩見沢市春日町2丁目2番22号	9:00~17:00	-
	一条出張所	岩見沢市1条西1丁目	9:00~17:00	-
	であえーる岩見沢(共同ATM)	岩見沢市3条西4丁目	9:00~19:00	9:00~18:00
	岩見沢市役所	岩見沢市鳩が丘1丁目	9:00~17:30	-
	岩見沢市役所 北村支所(共同ATM)	岩見沢市北村赤川593番地の1	9:00~17:00	-
	北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目	9:00~17:00	-
三笠市	イオンスーパーセンター三笠店	三笠市岡山1059番地の1	9:00~19:00	9:00~17:00



第146回地域企業景気動向調査 景況レポート 2023.1 発行 2023年1月31日

〒068-8660 岩見沢市3条西6丁目2番地1
空知信用金庫 地域支援部
TEL 0126-22-1171
<http://www.shinkin.co.jp/sorachi/>